



愛知県稲沢市六角堂  
東町1丁目3番地6  
社会福祉法人  
薫風会



ISO9001等資登録取得



**プライバシーマーク**

**認証取得を**

**めざして**

ホームページアドレス <http://www.ans.co.jp/u/daiwanosato/>

## 平成十七年度 薫風会事業計画として



社会福祉法人薫風会  
理事長  
佐藤 和夫

平成十七年度四月一日から「個人情報保護に関する法律」が全面施行されます。私ども社会福祉法人に求められるものは福祉分野・介護分野における個人情報保護の適切な取り扱いを強く求められております。そして取り組みの対象としては、利用者のみならず利用者の家族・法人・施設の職員・ボランティア・実習生等に関わるものも含まれております。

その為にも十七年度薫風会の事業計画としては

### 一、基本理念として

先に述べた個人情報保護措置を講ずる体制整備として、(財)日本情報保護協会

によるプライバシーマークJIS-Q15001の認証取得を年内に実現することを目的とします。また昨年十二月にISO9001・2000の認証更新も完了し、尚一層の良質なサービスの提供すべきことを職員全員で推進します。

### 二、中・長期目標として

昨年度後半において「薫風会二十一世紀委員会」を立ち上げ本年度において人事管理の合理性を目標として二年後の経営基盤の安定化を図ることによりマーケティング力の強化に取り組めます。

次に重点目標として

#### (1) 人事考課(評価)制度の実行

昨年度完成した人事考課制度の実施運用にたいし、本年度より自己申告内容の統制化と上司との対話において個別の能力啓発と組織内の活性化を実現出来るよう推進します。

#### (2) 年俸制の導入

現行使用している給与規程の準則を廃止することにより、措置時代よりの名残りを打ち切り、平成十二年度よりの介護保険制度による介護報酬の定額制

による収入にたいする新賃金制度として年俸制を導入します。収入と支出における損益分岐点の算出により、健全経営の目標値を設定することにより、三年後において人件費率六〇パーセントを達成することが薫風会の事業の永劫と職員全員の生活の安泰を計るべき最重点と考えます。その為にも年俸制を導入し、適正な業績評価を主体とした貢献度に応じた給与体系としての年俸制に移行します。当然のことながら年度毎の評価により変動いたします。

#### (3) プライバシーマークの認証取得

県下或は全国の福祉施設としてこの「マーク」を初期に取得することにより社会的評価を位置づける為、全職員熱意と努力を期待しております。

#### (4) 福祉QC活動への取組み

継続事業として、民老協愛知大会及び福祉施設士会全国大会に参加することを目標に、各チームの切磋琢磨することによりサービスの質の向上と介護事故ゼロを目指します。

#### (5) 地域密着型施設としての機能・役割の推進

地域の中核として、フォーマルサービスの多様で柔軟な提供に努めます。

## お詫び上手



大和の里施設長

渡辺昭二

謝るのって、本当に難しい。とんでもないミスをしてしまった。怒鳴られるんじゃないか、何て言ったらいいんだろ、できるなら避けたい、先延ばしにしたい……………。

たぶん多くの人はそう思うはず。私も何か失敗すると、すぐに尻込みする。いかに笑ってごまかそうか、などと姑息なことともつい頭に浮かんでしまいます。

また、お詫びの場面でも、かえってことが大きくなりがちなケースとして、言い訳というのがあります。下手な言い訳は、よけいに相手を怒らせてしまいます。

「言い訳は、やはり逃げたいという気持ちがあるのか。そういう説明は相手があつたのか。そういう説明は相手

もきちんと知りたいわけです。」  
感情的な表現は加えず、具体的に客観的な説明をきちんとするのは、相手との信頼関係を深めるうえで大切だということですよ。

「自分の弱さを認められる人は、素直に詫びることができますよね。失敗についてどこに問題があり、責任をどの部分でどの程度負うのか明確になっている人も、きちんと謝ることができますよね。」ただ問題なのは、詫びるということを無意識にでも力関係や上下関係で考え、勝ち負けや優劣に繋がると勘違いする事や負けたくない和我を張り、相手との関係を悪くしてしまう事です。

ちなみに、以前まで私は、謝ることを後ろ向きに考えていました。しかし、今は自分と相手の責任をきちんと客観的に見つめ、自分の責任を判断し、問題解決のため、どうしたら良いのか？代替案を具体的に考えます。

本当のお詫びとは、謝罪の言葉の後から始まるもので、その後、相手の気持ちにどれだけ応えられるのか？そんな前向きなお詫びを心がけています。私の経験から自分が悪かったと思う

時、過剰に責任を感じてしまい自分を責めてしまいます。でも、それだけで何の問題解決にもなりません。

お詫びをプラスに考えれば、「責任を取らなければ」と義務意識で受け止めるのではなく、「責任を果たすのだ」ととらえれば、お詫びによって達成感や自尊心も感じられます。しかも、「お詫び」って、結局、コミュニケーションの一つ。訓練すれば慣れて上達するし、きちんと謝った後のすっきり感や効用を実感すると、次からは姿勢も変わり、同じ過ちを繰り返すこともなくなります。

ミスばかりして悔やんでいると自分が劣っているように思える。でもこの点が悪かった、改善しようと考えれば、失敗やお詫びを通して自分の能力を伸ばし、次への大きなステップになると思います。

お詫びも発想しだいでプラスにつながるかもしれませんよ。一度お話しあれ。



## ★節分祭★

平成十七年二月三日に節分が行われました。鬼のお面をかぶった人達にフアミリーの皆さんが一齐に豆を投げ、「鬼は外！ 福は内！」と大きな声が響きわたります。よく見ると豆の代わりに「タマゴボーロ」を投げている方もみえました。豆まきが終わると、ライオンズクラブの方々によるアトラクションとして、



舞踊・三味線・アコーディオン演奏と歌・マジックショウ・曲あてクイズなどが行われました。三味線は室内で聴くとかなり



の迫力で、耳からだけではなく体にも音が伝わってくるような感じでした。次のアコーディオン演奏では、懐かしのメロディが流れ、ライオンズクラブの方だけではなくフアミリーの皆さんも懐かしそうに口ずさむ姿が見られました。ひととおりの出し物が終わるといよいよ待ちに待ったおやつの時間です。色とりどりのケーキを目の前に皆さん（特に女性）、「私はこれがいい」などと楽しそうに選んでみえました。全てが終了したあとにフアミリーの皆さん



に「歳の数分豆は食べましたか」と質問してみたところ、「そんなに食べたからお腹を壊すわ」という答えが返ってきました。今年も無事に楽しく節分を終えることができましたのも、御協力下さいましたラ



ライオンズクラブの方々のおかげだと思えます。本当にありがとうございます。



# 国府宮はだかまつり



去る平成十七年二月十九日に、六角堂・五一会様主催による餅つき大会が行われました。

餅つき大会は今回で三回目になります。ファミリートの皆さんもとても心待ちされていたる慰問の一つです。さね・うすをみて懐かしいなあ「昔はよくやったもんだ」とおっしゃる方が何人もおみえでした。

「それっ」「よいしょ」「もうひとつ」「どっこいしょ」  
と、ファミリートも職員も自然に声が出ます。笑顔と笑い声でマイクを通さなくても声援が一つでした。寒い日ではありませんが、ファミリートの声援でボランティアの方にも感謝の



気持ち伝わったのではないのでしょうか。この餅つきは、二月二十一日に行われる稲沢市国府宮はだか祭りに奉納する為の鏡もちです。

国府宮はだか祭りは今から約一二三〇年余り前、奈良時代の神護景雲元年（七六七）に始まったと伝えられています。尾張国司が悪疫退散を祈願する厄払いを尾張大國霊神社（国府宮神社）で行ったのが発祥の由来と言われています。旧暦正月十三日に行うのがはだか祭りです。

二月二十一日は、日差しは暖かい日でしたが、風が冷たい日でした。サラシの下帯・白足袋をつけただけの姿「ワッショイ」「ワッショイ」の掛け声に地域の皆様、男性職員のはだか男が施設に到着です。



ファミリートの皆さんも笑顔で「頑張っ」と握手。肌をふれては「寒くない？」と気遣いをされるファミリートもおみえでした。自然にいつも以上の大きな声も出てきます。今年は、去年に比べチビッ子のはだか男の参加も多く感じられました。ファミリートも子供達がかわいい様子でなかなか手を離すことができない様子でした。

はだか男の「ワッショイ」の掛け声に今年も皆様の健康を祈願し、毎日を楽しく過ごして頂ければ幸いです。



# ☆節分祭☆

去る一月三日、ライオンズクラブの方々がみえ節分祭が行われました。

皆さん鬼に豆を投げ、一年の悪を追い払おうと、はりきって食堂に特養、グループホーム、ケアハウス、ユ



ニットのファミリィが集合しました。ライオンズクラブの方の挨拶が終わり、皆さんに袴に入った豆やたまごボーロを配るとライオンズクラブの方々の鬼の登場です。スーツ姿に鬼のお面



豆を投げられている事が、番印象的でした。袴の中の豆も空になり、いよいよ輪の中に福の神が登場しました。皆さんの声が「鬼は外」から「福は内」へ変わっていました。そして



をかぶった鬼が五つの輪の中に何人も入ってききました。「鬼は外」「鬼は外」と大きな声があちこちで響きわたりました。白分の近くに鬼が来ると思い切つて豆を投げる方、少し遠慮を

ライオンズクラブの方々が演じて下さった鬼も次々と輪の外へと消えていきました。最後に司会者の「今年一年も大和の里の皆さんに幸せが訪れますように」との言葉がある、皆さんから一斉に拍手がわき上がり笑顔がこぼれました。

その後、尾乃塚流の方々による舞踊慰問が行われました。とても素敵なお着物を着た方が登場し、さきほどとは一変皆さん静まりかえり、じっと真剣な表情で見えてみました。

そして最後に、ライオンズクラブの方々から頂いたケーキを食べました。皆さんまた笑顔がこぼれ、うれしそうに「おいしい、おいしい」と言いながら食べられました。

今年一年も皆さんの笑顔が絶えないその一瞬の素敵な笑顔に出会えるように職員一同頑張っていこうと思います。



# ボランティア感謝祭



去る一月二十九日にボランティア感謝祭が行われました。

日頃お忙しい中、来てくださりとてもお世話になっていいるボランティアの方々に感謝の気持ちを伝えたいと、ファミリー

そして職員が一緒に考えました。今回特養は、どうしたら感謝の気持ちがあまく伝えられるんだろうかと考えた末、ボランティアの方々に特養とユニットのファミリーと職員によるビデオレター



を作る事にしました。ボランティアの方々へ素直に「ありがとうございます」という大事な言葉が伝わるように作りあげました。ビデオレターの上映が始まるとみなさんが静まり返り真剣な表情で鑑賞してくださいました。



中には、おもしろいビデオレターもあり笑い声も聞かれましたが、思いが伝わったのか泣いてくださる人もいました。最後は盛大な拍手で幕を閉じました。次にケアハウスからは黒田節が披露され一生懸命に踊り感謝の



気持ち伝えました。グループホームは、花笠音頭を披露し、思いを込めて踊りました。

皆様、緊張の中今まで練習してきた成果を出そうと頑張りました。

ボランティアの方々の声援や拍手がとても温かみのあるものに感じました。そして幕が閉じ無事出し物は終わりました。

次に理事長挨拶、ボランティアを代表し、小鹿様より挨拶をいただき、食事が始まりました。

今年「和食」を中心にバリエーション豊かに調理員さんが腕によりをかけて作って下さいました。皆さんとても笑顔がこぼれ満足そうに食事をされました。

さて、食事会も終わり、お見送りとなりファミリーよりおみやげが渡されました。ファミリーと職員が一緒に作ったプレゼントです。

ボランティア感謝祭へは大勢の方にお越し頂き、いつもたくさんの方から支えられているのだと感じました。

これからも、みなさんの気持ちに答えられるよう温もりのある施設にして行きたいと思えます。

## ケアハウスのクラブ活動

ケアハウスでは、毎月様々なクラブ活動や、各種教室を開催しています。今回は、この活動について少しご紹介させていただきます。

クラブ活動は、音楽クラブと手芸クラブをおこなっています。どちらも、昔ながらの遊びなども取り入れながら、和気あいあいと楽しんでいます。

また、その他にわら工芸教室、押し花教室、体操教室、健康教室といった各種教室も、毎月開催されています。どの教室も、皆さん積極的に参加され、わら工芸や体操などは、グループホームの皆さんと一緒に楽しむこともあります。わら工芸、押し花、体操の教室には、毎回様々なテーマを提供して下さるボランティアの先生がご協力下さり、皆さんもやる気いっぱいです。

1月に行われたボランティア感謝祭では、お世話になってる先生方に、日頃の感謝をこめて、自分たちの頑張りを披露しようと、皆さんが一致団結され、体操教室で行っているリズム体操を少しアレンジして、発表させてい



ただきま

した。最初は

練習に追加される

方もまばらでした

が、発表の日が近づくと

れ、衣装を揃えたり、当日

の立ち位置を決め

たりすると、だんだん

がりがり、練習にも熱が入って

当日は、朝からそわそわして落ち着かず、昼食後から自主的に集まって

みえ、何度もありハーサルを重ねました。

そして本番。先生のお力もお借りして、何とか無事に終えることができ、衣装を身にまとっての記念撮影も十分

行って、感動ひとしおでした。その後、いつもの日常に戻りましたが、皆さんから、

「目標がなくなっちゃって、何だか

張り合いがないねえ。」

という声が多々聞かれますので、また機会があれば、披露の場を持ちたいと考えています。

クラブ活動を始めてから、皆さんが自主的に談話室に集まり、手芸を楽しんだり、お話をされている姿をよく見かけるようになり、ケアハウスの雰囲気

が明るくなったように感じます。これからも、皆さんがいそいそと楽しく生活していただけるよう、職員一

同努力をさせていただきます。

力して参りますので、何卒

で、何卒宜しくお願い

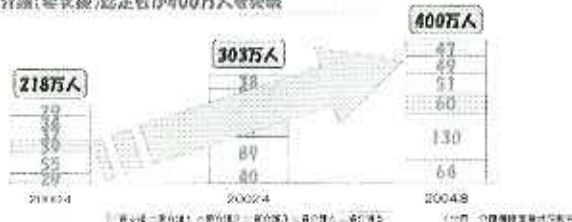
します。願います。

です。





○要介護(要支援)認定者が400万人を突破



○介護費用額は年額6兆円を超える



## これからの介護保険における介護予防について

介護保険の制度が、スタートした時の課題は、「どう制度を浸透させるか」にありました。5年たった今、介護保険の利用は、毎年10%のペースで増え続けており、サービスの給付費をどう抑えるかに変わりました。増加の傾向に一定の「歯止め」をかけたのが今回

見直しでポイントとなった点です。

介護保険法(第二条)には、「保険給付は、要介護状態の軽減、もしくは悪化の防止又は、要介護状態となることとの予防に資するように行わなければならない。」と明確に示され、(第四条)においても、「国民は、自ら要介護状態になることを予防する為、健康の保持増進に努めるとともに、要介護状態になった場合においても、その有する能力の維持向上に努める」と国民の責務として、介護保険の中に謳われています。

生活自立度が高く、潜在能力が多く残され、適切なサービスを利用することによって、自立した生活を送ることができるにおいて十分な軽度の高齢者の方々に対して予防をする事が、重要なポイントとなりました。

### 新しい介護予防サービス

#### ☆運動器の機能向上

(筋力向上、転倒予防)

○簡単な用具やマシンを用いたトレーニングをする事で、筋力の向上、歩行の安定性の改善などの「基礎的な体力」の維持向上。

#### ☆口腔機能の向上

○口腔ケア(歯や舌の汚れのチェック、うがい、歯みがきの指導をする事で日常生活行動の改善、栄養状態、コミユニケーション機能の向上)

#### ☆栄養改善

○低栄養状態の高齢者の栄養改善を積極的に図ることで、低栄養状態の改善、身体機能、生活機能の向上等などいずれも、科学的に効果が、得られており、現場からの意見、専門家の知見も踏まえています。

軽度の高齢者の方々は、適切なサービスをうける事によって自立した生活が送れます。本人の「できること」をできるだけ見つけ、増やしていけるよう、工夫(本人の個性を意識した期間、目標、の設定をするなど)をしていきます。

介護予防は、要支援、要介護1といった軽度の方だけではなく、非該当(予備軍)の方々も含め、地域において一貫したサービスが、連続して提供していく仕組みを目指したものです。

## デイスリーブスからいんじきは

日頃、利用者の皆さんは入浴の待ち時間や昼食後、あるいは喫茶室から戻られた時にも「何か持ってきて。」とか「何かやること頂戴。」など言われ、手工芸を楽しむにしています。始めは、「手指を動かすことでリハビリになれば」と職員が考案した作品が多かったのですが、今では「こんなものを作ってみたい」と利用者から言われることもあります。ただ残念なことに、皆さんが素敵な作品を作られてもなかなかお披露出する機会がありませんでした。



そこで今回は、ごく一部ではありますが、紹介したいと思います。まずは花ふきん、さらし布に職員が柄を書いて利用者に好きな色の糸で線に合わせて縫っていただきます。昔は着物や服を

作られた利用者には、御手の物のようです。その花ふきんに似た、刺し子もあります。普通の縫い糸より太い糸で柄を縫い上げます。刺し子の作品は、エプロンやコースター、巾着などバラエティに富み、それが更に利用者の意欲を掻き立てるようです。

次に月カレンダーです。八ツ切画用紙に描かれた四季折々の絵と数字が塗り絵になっており、好みの色で塗っていただきます。この作品は以前から評判も良く、自宅に毎月飾っておられる利用者もいます。

最近では新たにパッチワークに取り組まれる方もおられます。出来上がった時の皆さんの笑顔は嬉しい気持ちとまた次の作品を取り組もうとされる意欲の現れのように感じます。

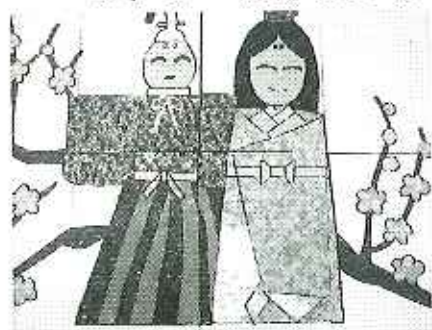
尚、完成した個人作品に関してはご希望があればお持ち帰りいただけます。中には、巾着やパッチワークの袋物などをデイスリーブスを利用する際に使用されている方もおられます。作品を持ち帰ることで、ご家族の方も家では寝てばかりなのに、こんな作

品を作れるんだ。」と驚かれることもあります。



作品は個人作品にとどまらず、皆さんでの共同作品もあります。その一つが障画作成です。一ヶ月ごとに担当の職員が案を出し、利用者と共に完成させていきます。三月はお雛様と桃の花の貼り絵でした。八枚のダンボールに紙を貼り、お雛様の下絵を書いた所へ色紙を貼

っていきま  
す。紙をちぎ  
る人、貼る  
人、利用者間  
でも役割があ  
り、おしゃべ  
りをしながら  
楽しそうに手  
を進めておら  
れました。



## 高齢者と脱水症

高齢者が脱水症を起しやすいことは介護現場では常に頭に入れておかなければなりません。

身体的理由からみると、高齢者の身体は、水分量が多く含まれる筋肉が少なく、水分を貯蔵しにくい脂肪組織が多い構成となっています。次に、老化に伴う腎機能の変化があります。若年者に比べて高齢者の尿は薄くなりますが、腎臓からの代謝物を排泄する働きは変わらないため、代謝内容を維持するためには多量の尿を必要とし、これは摂取量の増加が大切となります。さらに、渇きの感覚を察知する渴中枢の感受性が低下するために、水分摂取量の不足が起ります。

生活上の理由からみると、水分摂取が少ない生活習慣の個人差や、トイレが近くなることを嫌う意識。自力で水分摂取がとれない状況や、排泄に人手を借りなくてはいけない状況では、水分摂取を控えて排泄そのものを控えることが脱水を招く事になります。

環境上の理由として、室温の上昇、衣類の不必要な重ね着、寝具のかけず

ぎ、窓際のベッドで体温を上昇させる等があります。

成人の身体は、約六〇％は体液といわれる水分からできています。脱水症は体液の不足している状態をいいます。脱水症の分類と症状比較、脱水症の主な観察ポイントを表示しました。

脱水症は、血液循環量の不足から脳血管疾患や循環器疾患を起すことにつながります。また、水分量の不足から夜間せん妄など、認知症と間違われやすい症状を起します。さらに、脱水症は、適切な対応や治療を行わなければ死を招くという事を意識しながらの

脱水症の分類と症状比較

分類	高張性脱水症 (純粋水分欠乏)	低張性脱水症 (食塩欠乏)	混合性脱水
原因	水分摂取量の不足 高度の発汗 多尿	嘔吐 下痢 褥瘡からの浸出液	
症状	口渇が次第に強くなる 乏尿 めまいなし 血圧：普通	口渇なし 尿量普通 めまいあり 血圧：低下	全身倦怠感 うつらうつらした状態 失禁などの意識障害

脱水症の主な観察ポイント

身体を観察ポイント	生活上での観察ポイント
皮膚・粘膜の観察部位と症状 ・口唇粘膜の乾燥 ・口唇のひび割れ ・皮膚の乾燥(腋の下の乾燥) ・皮膚弾力性の低下	食事量の変化はないか いつもと比べて元気がない 歩行にふらつきがないか 物忘れがひどくなったようなことはないか 室温や気温の変化は確認したが 適切な衣類の選択はされているか 体重の急激な低下や身体の部分的浮腫はないか
尿の変化 ・尿量の低下 ・尿の色の変化(色が濃くなる)	
発熱症状 ・顔面紅潮 ・発熱・微熱が続く(日頃の体温を知る)	
嘔吐や下痢の有無 褥瘡から多量の浸出液がないか	

ケアが必要となります。脱水症を起さないためにも、日頃から利用者の方の身体状況と生活状況の観察・把握・ケアと連携のとれた行動を取らなければなりません。

# 厨房だより



今年も「花粉症」の方にとって花粉情報が気になる季節となりました。

今年は大気飛散が心配されるとか？

二〇〇四年度は、全国的に記録的な猛暑にみまわれました。

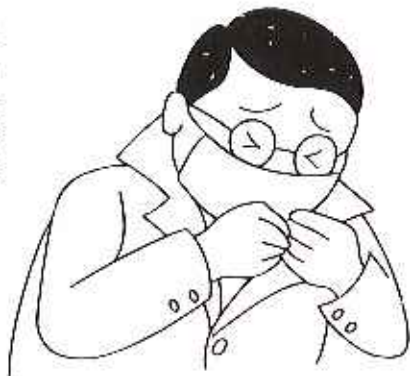
二月中旬より飛び始めた花粉の量がいつになく増え、二〇倍とも言われています。



花粉症にかかりやすくなる食生活とは…？

- (1) 甘い物、冷たい物の摂りすぎ。
- (2) 食物繊維の不足。
- (3) インスタント食品の食べ過ぎ。
- (4) 保存料・防腐剤の摂取。
- (5) 季節感のなくなった食卓。

花粉症に良い食事とは…？



- (1) 季節に合った野菜などで食物繊維をたっぷり摂る。
- (2) 旬の物を食べる。
- (3) 白糖の入った食品は食べない。
- クッキー、洋菓子、炭酸飲料。
- (4) 砂糖、塩はできるだけ未精製のものを使う。
- (5) インスタント食品を減らす。



花粉から体を守る天然植物



甜茶



シソの葉



シソ種子



ハトムギ



ルイボス茶

ワンポイントアドバイス

鼻水やクシャミに悩まされている夜に…

★鶏の味噌鍋

白菜・春菊・モヤシなどの野菜と、体を温める鶏肉のたっぷり入った、味噌鍋はいかがでしょう？  
症状がとても楽になりますよ。



花粉症の皆さん、頑張って乗り越えましょう！